

長崎南山小学校学校生活だより 平成31年2月号 担当(山田) NO.76

完全なごめんなさい 不完全なごめんなさい

「すぐに暗くなるんだから 5 時前までには必ず 帰って来なさいよ。」

「はーい,分かってるよー。」

冬休みのある日,太郎君と次郎君の兄弟は, お昼ご飯を食べた後,サッカーボールを持って 出かけました。友達と約束していた公園までは 急いで行っても30分ほどかかります。

公園に着くと、もうみんなが集まっていました。サッカーをしたり鬼ごっこをしたりブランコに乗って遊んだりしているうちに、公園の丸時計は午後4時を回っていました。もう帰る準備をしなければいけないのに太郎君も次郎君もすっかり遊びに夢中です。まわりが薄暗くなった頃、帰り支度を始めた太郎君と次郎君は、やっとお母さんの言い付けを思い出して(急いで帰らなければ。)と慌てました。

(お母さん, どうしてるかなあ。) というのが 太郎君、(きっと怒られるぞ。)と心配している のが次郎君。走って帰って家の玄関の前に立っ た時は、もう6時を回ってすっかり暗くなって いました。恐る恐るドアを開けて中に入ってみ ると,不安そうな顔をしたお母さんが玄関の上 がり框に腰を下ろして下を向いたままオロオロ としていました。4時半頃には帰って来るだろ うと思っていたお母さんは、(知らない人にでも ついて行ったんじゃないかしら, いやいやそん なことはあるはずがない。それにしても遅すぎ 急車で運ばれてるんじゃないかしら。) などと, 要らない心配ばかりが頭の中を駆け巡って青ざ めていたのです。何事もなくやっと無事に帰っ て来た二人の姿を目にした時, 不安の最中にい たお母さんの目から一粒二粒ほっとした安心の 涙がこぼれ落ちました。

「ごめんなさい, お母さん。」

声をそろえて謝った太郎君と次郎君でしたが、二人の「ごめんなさい」は大きく異なっていました。(ぼくたちのことをこんなにも大切に思ってくれている、愛してくれているお母さんを悲しませてしまった。悪かったなあ、これからは絶対に心配をかけないようにしなければ。)というのが太郎君の「ごめんなさい」。

(怒られなくてよかったなあ, ビビってしまったよ。今度からは言い付けを守らなければいけないなあ。) というのが次郎君の「ごめんなさい」。

お母さんのことを思う愛の気持ちから謝るのが 「完全なごめんなさい」、自分のことばかり考え て恐れの気持ちから謝るのは「不完全なごめんな さい」といってもいいかもしれません。

カトリック教会では、まもなく四旬節に入ります。 きれいな心で復活祭を迎えるために罪を悔い 改め、小さな犠牲を捧げる期間でもあります。

イエス様が鞭打たれ、茨の冠をかぶせられ、十字架に釘付けにされて流された血と汗、苦しみと死は、わたしたち人類の罪を贖うため、救いに導くためであるという教義を黙想するのは子どもには難しいですが、神様はそれほどまでにわたしたちを大切にされ愛してくださっているということを子どもたちにも分かってもらいたいと思います。そして、自分の悪かったところ、犯した罪があったならば赦してもらうように神様に謝る心をもってもらいたいと思います。

なことはあるはずがない。それにしても遅すぎ (このままでは神様の罰があるかもしれないぞ、) るなあ。もしかしたら交通事故にでも遭って救 天国にいけないかもしれないぞ。) という恐れからの「不完全なごめんなさい」ではなく、(こん 要らない心配ばかりが頭の中を駆け巡って青ざ なにも愛してくださる神様をこれからは絶対に悲 しませることがないようにしなければ。) というて来た二人の姿を目にした時、不安の最中にい たお母さんの目から一粒二粒ほっとした安心の 涙がこぼれ落ちました。 つる悔い改め、40日間の四旬節を過ごしてもら いたいと思います。

命命教室紹介命命

4年1組 担任 野川知彦 先生

4年1組のモットーは「ジャンプ」, 一つ一つ の壁をジャンプして乗り越え, 一人ひとりがや るべきことをきちんとし, 人にやさしく他を思いやるクラス, 元気いっぱいに遊んだり食べたり発表したりするクラスづくりを目指して, この1年間がんばってきました。

「元気いっぱい」の一端はなわとびの取り組みで大いに見られました。何度失敗してもくじけずに目標達成を目指してがんばった子どもたちは、検定期間が終わった今でも朝から元気になわとびを楽しんでいます。

3学期からは、メダカをクラスで飼い始め、 生き物係を中心にみんなでお世話をしています。 休み時間にメダカを見ながら楽しそうに話をし ている子どもたちの姿からは生き物に対する優 しい心が育っているように感じられます。

野川先生は、なわとび検定で見られたように、 5年生になってからでも何事にも目標をもって 取り組んで欲しい、そしてそれぞれの目標を達 成し、大きくジャンプしてもらいたいと願って います。



岛岛教室紹介岛岛

5年2組 担任 伊東 亮 先生

元気でおしゃべり、遊びが大好きな5年2組は、とても仲のよい明るいクラスです。行事に取り組む時も勉強する時も、また遊ぶ時でも高学年らしいめりはりのあるクラスを目指して、この1年間やる気を前面に出しながらがんばってきました。

10月から始まった陸養プロジェクトのクエの養殖では、飼育槽の掃除や餌やり、観察など当番制でお世話をがんばってきました。子どもたちの活動はとても熱心で、当番でないときでも様子を観に行ったり手伝いをしたりする姿が毎日のように見られました。大きく育っていくクエを観察しながら愛着や関心も深まり、命の大切さを学ぶこともできました。

伊東先生は、3学期を第6学年の0学期と考え、4月から南山小学校の最高学年になる準備をするように指導しています。そして、心も体も大きく育って、学習面でも生活面でも人に頼りにされるような6年生になって欲しいと願っています。



♪主は水辺に立った

- 主は水辺に立った わたしに声をかけた みことばで 漁に出た おー 主よ わたしを見つけた あなたが 呼ばれたから 水辺に船を捨てて みことばで漁に出よう
- 主にわたしのこころ この手と若い力 汗のしずく ささげよう おー 主よ わたしを見つけた あなたが 呼ばれたから 水辺に船を捨てて みことばで漁に出よう